

小田原市の「緑の分権改革」事業における取り組み

1 目的

豊かな自然環境などの地域資源の活用やごみの減量・資源化などの環境課題に取り組む市民主体の動きを地域再生の原動力とし、地域のつながりを強め、自ら課題を発見・解決する地域社会の構築を目指すため、「緑の分権改革」調査事業を実施する。

2 内容（具体的なフィールド又は活動）

地域の身近な自然環境を守り育てる「環境再生プロジェクト」や一般家庭の「生ごみ堆肥化」の取り組みなどを推進することで、地域の力を向上させるため、次の事業を行う。

（1）環境再生プロジェクト（身近な河川、身近な森林・荒地、地域資源）

- 花の散歩道計画（下菊川）
- 手入れ不足の山林における間伐及び間伐材利用（荻窪）
- 荒地の再生・活用（和留沢）
- 白糸川の滝（地域資源の活用）の散策路（根府川）

（2）生ごみ堆肥化推進事業

生（いき）ごみ小田原プロジェクトによる生ごみの減量と市民主体の取り組みの形成

（3）緩やかな連携、調整・仲介機能の構築

緩やかな連携としてプラットフォームの形成

（活動のネットワーク化の促進、環境情報の集積・活用、人材の養成につながる事例発表等）

小田原市の緑の分権改革における取り組み（イメージ）

環境改善の取り組みを通じた緩やかな連携による地域づくり（プラットフォームのあり方）

